

目的

妊娠期から就学前にかけて、子供と家庭に寄り添い、あらゆる支援をコーディネートする「とうきょう子育て応援パートナー制度」を創設し、安心して子育てができる環境を整備する。



事業内容 (令和4年度予算額：48,000千円)

検討WGの設置

○有識者を含めたWGを開催し、とうきょう子育て応援パートナー制度を検討

【検討内容】

- ・とうきょう子育て応援パートナー制度の基盤整備 (子育て・母子部門の連携の仕組みづくり)
- ・とうきょう子育て応援パートナー制度を担う人材の役割、必要なスキル、支援対象、必要な人員体制等
- ・要支援妊婦の共通アセスメント基準、支援対象に応じた支援プランの作成の方法
- ・主な在宅支援サービスの実施状況を調査
(例：ショートステイ、養育支援訪問事業(家事育児援助)等)

人材の育成

○WGで検討するとうきょう子育て応援パートナー制度を担う人材の役割や必要なスキルに基づき、研修を実施するための養成プログラムを作成し人材育成を実施

【想定される養成プログラムの内容】 ※R4：養成プログラム作成

- ・保護者と関係性を構築するための面接技術の習得
- ・当事者性の理解の習得 (妊産婦を支える視点の習得)

今後のスケジュール (想定)

	R4.4~7(2回程度)	R4.8~11(3回程度)	R4.12~R5.3(2回程度)
検討WG	<ul style="list-style-type: none"> ・活動基盤の整備 ・役割やスキル ・区市町村の人員体制 ・適切な支援サービス ・サービス調査発出 	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援妊婦のアセスメント基準 ・支援対象に応じた支援プランの作成方法 ・サービス調査とりまとめ 	業務マニュアル作成
人材の育成		養成プログラムの作成	→